

トルコ・ボンド・オープン (年1回決算型)

運用報告書(全体版) 繰上償還

(償還日 2026年3月19日)

(作成対象期間 2025年11月26日～2026年3月19日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、トルコ・リラ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	2013年8月5日～2028年11月22日		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	トルコ・ボンド・マザーファンドの受益証券	
	トルコ・ボンド・マザーファンド	トルコ・リラ建債券	
組入制限	ベビーファンドの マザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの 株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン G B I - E M トルコ (円換算)			公 社 債 入 率 組 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	百万円	
10期末 (2022年11月22日)	3,362	0	6.1	4,328	13.8	88.2	944	
11期末 (2023年11月22日)	2,114	0	△ 37.1	2,065	△ 52.3	84.4	371	
12期末 (2024年11月22日)	2,256	0	6.7	2,268	9.8	94.5	338	
13期末 (2025年11月25日)	2,367	0	4.9	2,413	6.4	95.6	346	
償 還 (2026年3月19日)	2,519.68	—	6.5	2,517	4.3	—	222	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン G B I - E M トルコ (円換算) は、J Pモルガン G B I - E M トルコ (トルコ・リラベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J Pモルガン G B I - E M トルコ (トルコ・リラベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：2,519円68銭（既払分配金0円）

騰落率：△74.8%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

トルコ・リラ建ての債券に投資した結果、主にトルコ・リラの対円での下落（円高）がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

トルコ・ボンド・オープン（年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		J Pモルガン G B I - E M トルコ (円換算)		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
(期首) 2025年11月25日	円 2,367	% —	2,413	% —	% 95.6
11月末	2,404	1.6	2,457	1.8	94.8
12月末	2,513	6.2	2,598	7.7	93.2
2026年1月末	2,522	6.5	2,599	7.7	91.7
2月末	2,520	6.5	2,617	8.5	—
(償還) 2026年3月19日	2,519.68	6.5	2,517	4.3	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2013. 8. 5 ~ 2026. 3. 19）

■トルコ債券市況

トルコ債券金利は上昇（債券価格は下落）しました。

トルコ債券市場では、当ファンド設定時から2017年にかけて、金利は方向感に欠ける展開となりましたが、2018年に米国人牧師の拘束問題をめぐる米国との関係悪化からトルコ・リラが急落し、通貨防衛とインフレ抑制のために大幅な利上げを余儀なくされたことで、金利は上昇しました。その後、為替市場の落ち着きとインフレ率のピークアウトで金利は低下（債券価格は上昇）する場面もありましたが、2019年前半にはイスタンブール市長選挙のやり直し決定を受けて政治不安が強まり、金利は再び上昇しました。それでもインフレ率の低下は続き、7月以降に利下げが実施されたことで金利は低下しました。2021年3月のアーバル中央銀行総裁解任や、その後の強硬利下げによるインフレ懸念の強まりなどを背景に、2022年前半にかけて金利は上昇しました。年後半には1桁台までの利下げが実施されたほか、条件付きで民間銀行に対して長期国債の積み増しが義務化されたことで、金利は低下しました。2023年の大統領選挙が終わると、オーソドックスな経済・金融政策へと転換して大幅な利上げが実施されたことから、金利は上昇しました。インフレ率の低下が明確になる中で2024年末からは利下げ局面に入りましたが、政治的な混乱や地政学リスクの高まりが意識されて金利は方向感に欠ける展開となり、償還を迎えました。

■為替相場

トルコ・リラ対円為替相場は下落（円高）しました。

当ファンド設定時から2014年にかけては、大手格付会社によるトルコのソブリン債の格付けの引き上げが続いたほか、日銀による異次元の金融緩和で円安が進行したこともあり、トルコ・リラは対円で堅調に推移しました。しかし、2014年8月にトルコで初めて国民の直接投票による大統領選挙が実施され、エルドアン氏が勝利すると、トルコ・リラを取り巻く環境は悪化しました。大統領による中央銀行への利下げ要求や中央銀行総裁の解任などを受けて中央銀行の独立性への懸念が強まったほか、インフレ率が高止まりしたことで通貨価値が毀損し、償還までトルコ・リラの下落基調が続きました。特に、2018年に米国人牧師の拘束をめぐって米国との対立が激化し経済制裁を受けた局面や、2021年にインフレ率の上昇に逆行して利下げを実施した局面では、トルコ・リラ安が加速しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

主として、「トルコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を通じて、トルコ・リラ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■トルコ・ボンド・マザーファンド

主として、トルコ・リラ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

運用にあたっては、以下の方針を基本とします。

イ。投資対象は、トルコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。

ロ。金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。

また、外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。

信託期間中のポートフォリオについて

（2013. 8. 5 ～ 2026. 3. 19）

■当ファンド

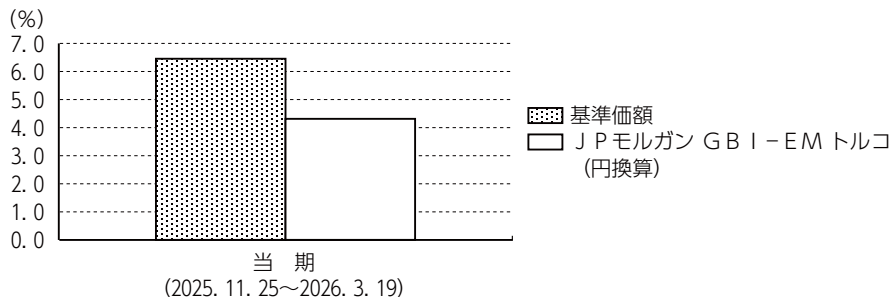
当ファンドの商品性格に鑑み、「トルコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

■トルコ・ボンド・マザーファンド

基本的な商品性格に基づき、トルコ・リラ建ての国債を中心に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

信託期間中の収益分配は、経費控除後の配当等収益が計上できなかった、または少額であったため、行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2025. 11. 26~2026. 3. 19)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	11円	0. 447%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は2, 503円です。
（投 信 会 社）	(5)	(0. 201)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(6)	(0. 234)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0. 013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 021	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(1)	(0. 021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	12	0. 468	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

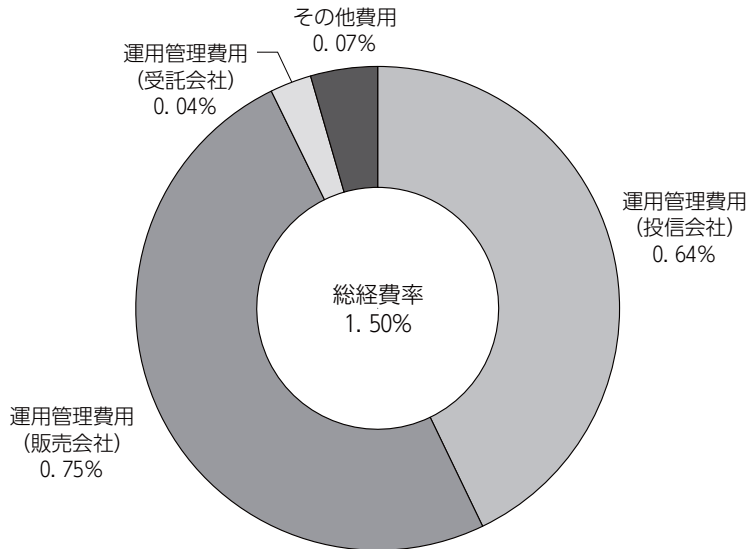
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.50%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

トルコ・ボンド・オープン（年1回決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2025年11月26日から2026年3月19日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
トルコ・ボンド・マザーファンド	6,219	2,599	850,617	369,279

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首	
	□ 数	千口
トルコ・ボンド・マザーファンド	844,398	

（注）単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年3月19日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	226,230	100.0
投資信託財産総額	226,230	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年3月19日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	226,230,800円
コール・ローン等	226,212,516
未収利息	18,284
(B) 負債	4,197,767
未払解約金	2,829,897
未払信託報酬	1,367,870
(C) 純資産総額 (A - B)	222,033,033
元本	881,195,825
償還差損益金	△ 659,162,792
(D) 受益権総口数	881,195,825口
1万口当り償還価額 (C/D)	2,519円68銭

* 期首における元本額は1,465,319,217円、当作成期間中における追加設定元本額は33,891,448円、同解約元本額は618,014,840円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は2,519円68銭です。

* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は659,162,792円です。

■損益の状況

当期 自2025年11月26日 至2026年3月19日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	122,261円
受取利息	122,261
(B) 有価証券売買損益	14,506,444
売買益	18,690,367
売買損	△ 4,183,923
(C) 信託報酬等	△ 1,367,870
(D) 当期損益金 (A + B + C)	13,260,835
(E) 前期繰越損益金	△ 47,417,067
(F) 追加信託差損益金	△ 625,006,560
(配当等相当額)	(156,985,319)
(売買損益相当額)	(△ 781,991,879)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 659,162,792
償還差損益金 (G)	△ 659,162,792

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：28,284円（未監査）

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年8月5日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2026年3月19日		資産総額	226,230,800円
区分	投資信託 契約締結当初	投資信託 契約終了時	差引増減又は 追加信託	負債総額	4,197,767円
				純資産総額	222,033,033円
受益権口数	1,000,000口	881,195,825口	880,195,825口	受益権口数	881,195,825口
元本額	1,000,000円	881,195,825円	880,195,825円	1単位当り償還金	2,519円68銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	1,602,367	1,610,483	10,051	0	0.00
第2期	25,278,756	29,911,148	11,833	0	0.00
第3期	97,587,091	92,724,213	9,502	0	0.00
第4期	76,728,850	58,278,849	7,595	0	0.00
第5期	1,429,801,673	931,080,564	6,512	0	0.00
第6期	1,999,946,670	916,914,536	4,585	0	0.00
第7期	1,500,609,375	827,152,673	5,512	0	0.00
第8期	1,120,040,053	470,204,306	4,198	0	0.00
第9期	2,770,064,533	877,501,447	3,168	0	0.00
第10期	2,810,852,890	944,883,684	3,362	0	0.00
第11期	1,755,333,826	371,031,953	2,114	0	0.00
第12期	1,499,731,007	338,321,659	2,256	0	0.00
第13期	1,465,319,217	346,792,557	2,367	0	0.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ

1万口当り償還金

2,519円68銭

トルコ・ボンド・マザーファンド

運用報告書 第14期 (決算日 2025年11月25日)

(作成対象期間 2024年11月23日～2025年11月25日)

トルコ・ボンド・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	トルコ・リラ建債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

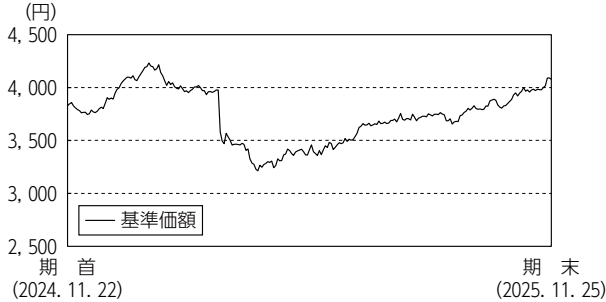
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		J.P.モルガン GBI-E M トルコ (円換算)		公社債 組入 比率
	円	%	(参考指数)	%	%
(期首) 2024年11月22日	3,829	—	3,208	—	95.2
11月末	3,792	△ 1.0	3,165	△ 1.3	95.0
12月末	3,998	4.4	3,328	3.7	93.3
2025年1月末	4,179	9.1	3,478	8.4	92.5
2月末	3,985	4.1	3,312	3.2	93.0
3月末	3,457	△ 9.7	2,886	△ 10.0	90.3
4月末	3,243	△ 15.3	2,708	△ 15.6	91.0
5月末	3,393	△ 11.4	2,852	△ 11.1	95.5
6月末	3,537	△ 7.6	2,972	△ 7.3	94.5
7月末	3,711	△ 3.1	3,115	△ 2.9	93.6
8月末	3,745	△ 2.2	3,142	△ 2.1	92.0
9月末	3,795	△ 0.9	3,181	△ 0.8	90.3
10月末	3,965	3.6	3,321	3.5	92.3
(期末) 2025年11月25日	4,079	6.5	3,413	6.4	96.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J.P.モルガン GBI-E M トルコ (円換算) は、J.P.モルガン GBI-E M トルコ (トルコ・リラベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。J.P.モルガン GBI-E M トルコ (トルコ・リラベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：3,829円 期末：4,079円 騰落率：6.5%

【基準価額の主な変動要因】

トルコ・リラの対円での下落 (円高) はマイナス要因となりましたが、投資している債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○トルコ債券市況

トルコ債券金利は、短期年限の金利が低下 (債券価格は上昇) した一方で、中長期年限の金利は上昇 (債券価格は下落) しました。

トルコ債券市場では、トルコ中央銀行が2024年12月以降に利下げを実施したことで、当作成期首から2025年1月末にかけて金利は低下しました。2月から金利は方向感に欠ける動きとなりましたが、次の大統領選挙における野党の有力候補と目されていたイスタンブール市長が3月に拘束されたことを受け、海外投資家がトルコ金融市場から資金を引き揚げる動きが強まり、金利は急上昇しました。トルコ中央銀行が4月に利上げを実施するなど為替相場の安定に努め、インフレ率の低下が続いたため、7月から利下げが再開されるとの期待が高まり、金利は低下しました。7月以降は連続で利下げが実施されましたが、当作成期末にかけて金利は方向感に欠ける動きとなりました。

○為替相場

トルコ・リラ円為替相場は下落しました。

トルコ・リラ為替相場は、トルコ当局による実質的な為替介入の下、対米ドルで緩やかに下落するよう誘導されました。米ドル円は、米国による関税政策を受けたリスク回避姿勢の強まりから下落する場面もありましたが、関税政策に対する過度な懸念の後退や自民党総裁選挙における高市氏の勝利などを受けて上昇 (円安) しました。当作成期では、米ドルの対円での上昇よりもトルコ・リラの対米ドルでの下落の方が大きく、トルコ・リラは対円で下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、主としてトルコ・リラ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、トルコ・リラ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

基本的な商品性格に基づき、トルコ・リラ建ての国債を中心に投資しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドの商品性格に鑑み、引き続き、主としてトルコ・リラ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、トルコ・リラ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

トルコ・ボンド・マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	(0)
合 計	5

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2024年11月23日から2025年11月25日まで)

外 国	トルコ	国債証券	買付額	売付額
			千トルコ・リラ 446,141	千トルコ・リラ (35,000)
		特殊債券	—	27,210 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2024年11月23日から2025年11月25日まで)

当 期		期 末	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	千円	銘 柄	千円
TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 31.08% 2028/11/8	712,355	TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 2025/9/10	463,539
Turkey Government Bond (トルコ) 12.4% 2028/3/8	330,427	TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 26.2% 2033/10/5	414,381
TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 30% 2029/9/12	291,568	TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 17.8% 2033/7/13	273,431
Turkey Government Bond (トルコ) 10.5% 2027/8/11	218,073	Turkey Government Bond (トルコ) 12.4% 2028/3/8	224,439
Turkey Government Bond (トルコ) 10.6% 2026/2/11	132,521	TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 2025/4/9	140,672
Turkey Government Bond (トルコ) 11% 2027/2/24	97,175	COUNCIL OF EUROPE DEVELOPMENT BANK (国際機関) 28% 2027/3/22	111,604
TURKEY GOVERNMENT BOND (トルコ) 2025/9/10	41,679		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

作 成 期	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
	千トルコ・リラ	千トルコ・リラ	千円	%	%	%	%	%
トルコ	782,000	626,558	2,316,073	96.3	96.3	26.3	50.8	19.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千トルコ・リラ	千円	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	45,000	42,762	158,070	2026/02/11
	Turkey Government Bond	国債証券	11.0000	35,000	26,514	98,011	2027/02/24
	Turkey Government Bond	国債証券	10.5000	80,000	55,265	204,289	2027/08/11
	Turkey Government Bond	国債証券	12.4000	40,000	26,613	98,375	2028/03/08
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	21.5000	51,000	38,538	142,458	2032/04/28
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	10.4000	87,000	39,229	145,010	2032/10/13
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	17.3000	60,000	43,267	159,937	2028/07/19
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	26.2000	106,000	93,398	345,248	2033/10/05
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	31.0800	198,000	187,110	691,652	2028/11/08
	TURKEY GOVERNMENT BOND	国債証券	30.0000	80,000	73,859	273,020	2029/09/12
	合 計	銘柄数 金 額	10銘柄		782,000	626,558	2,316,073

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年11月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,316,073	95.3
コール・ローン等、その他	115,317	4.7
投資信託財産総額	2,431,391	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月25日における邦貨換算レートは、1トルコ・リラ=3.696円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (2,416,352千円) の投資信託財産総額 (2,431,391千円) に対する比率は、99.4%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,455,393,834円
コール・ローン等	15,445,446
公社債 (評価額)	2,316,073,495
未収入金	47,021,081
未収利息	72,073,242
前払費用	4,780,570
(B) 負債	49,201,948
未払金	24,002,550
未払解約金	25,199,398
(C) 純資産総額 (A - B)	2,406,191,886
元本	5,898,939,333
次期繰越損益金	△ 3,492,747,447
(D) 受益権総口数	5,898,939,333口
1万口当り基準価額 (C/D)	4,079円

* 期首における元本額は7,172,959,364円、当作成期間中における追加設定元本額は413,681,387円、同解約元本額は1,687,701,418円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
トルコ・ボンド・オープン (毎月決算型) 5,054,541,154円
トルコ・ボンド・オープン (年1回決算型) 844,398,179円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は4,079円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,492,747,447円です。

■損益の状況

当期 自2024年11月23日 至2025年11月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	611,543,080円
受取利息	611,535,816
その他収益金	7,264
(B) 有価証券売買損益	△ 459,232,531
売買益	99,692,803
売買損	△ 558,925,334
(C) その他費用	△ 3,268,046
(D) 当期損益金 (A + B + C)	149,042,503
(E) 前期繰越損益金	△ 4,426,240,599
(F) 解約差損益金	1,045,983,918
(G) 追加信託差損益金	△ 261,533,269
(H) 合計 (D + E + F + G)	△ 3,492,747,447
次期繰越損益金 (H)	△ 3,492,747,447

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。(下線部を変更)

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。